

フェアプレイ
インタビュー
[スピードスケート]
小平奈緒選手



プロフィール
生年月日: 1986年5月26日
出身地: 長野県

平昌オリンピック
スピードスケート
女子500m
金メダル獲得!

フェアアに戦えるように
相手選手への心配りを忘れない

夢のオリンピック金メダル

小平奈緒選手はスケートが盛んな長野県で生まれ、2歳からスケートを始めました。そして小学5年生の時に地元で開催された長野オリンピックを間近で見て、オリンピック出場を意識し始めました。「清水宏保選手がスピードスケートで日本人初の金メダルを獲ったレースは、録画して何度も見ました。私もいつか清水選手のように、金メダルを獲りたいと思いました」



そして今年、韓国で開催された平昌オリンピックでは見事金メダルを獲得し、自身の夢を叶えました。

フェアプレーで最高の舞台に

平昌オリンピックの500m決勝でのエピソード(左のフェアプレーイストーリー参照)は注目を集めました。「オリンピックは4年かけて選手たちが練習してきたものを発揮する場所です。どの選手にとっても良い舞台でなければならぬと思います」と当時の心境を語りました。

小平選手はライバル選手を「仲間」と捉え、普段からの選手とも尊敬し合える関係を築けるように努力しているのです。「スポーツは自分ひとりでは成り立ちません。アスリートとして自分をより高められるのは、同じ競技を極めている仲間たちがいるからです」

皆の為が自分の為に

さらに、「自分の為になることは、皆の為になることでもある。また、皆の為になることは、自分の為になることもある」と心に留め、行動しているそうです。

オランダにスケート留学していた小平選手に好きなオランダ語を聞いてみたよ

Gezellig (ヘゼリヒ)

意味 → 居心地が良く、ほっこりするような心が温まる場所

チームメートと過ごした居心地の良い時間を思い出します。



けのひとつひとつが、小平選手のフェアプレーです。



フェアアに戦おう!

2018年
平昌オリンピック
女子スピードスケート
500メートルにて
金メダルを獲得した
小平奈緒選手

全16組中14組目に滑った彼女は、オリンピックの記録を更新

記録を塗り替えたぞ!

すると日本人の観客が興奮して大きな拍手が響いた

1 JPN KODAIRA
2
3

小平奈緒選手

このままでは滑れない

集中して

その喝采はスタートラインで準備を始めても続いていた

次の走者には小平選手と共に切磋琢磨し競い合ってきたライバルたちがいた

鳴り止まない歓声によって彼女たちが実力を出せないなんてそんなのはダメだ!

フェアアに戦おう!

後にインタビューにてこう語る

大きな試合でも周りへの配慮を忘れない
小平選手の姿は金メダルを獲られて悔しいはずの他の国の人たちからも称賛された

人としても選手としても尊敬できる

ただ勝利を目指すのではなく他の選手への配慮を忘れないことが大切なのだ

小平選手は観客席に向かって「静かに見よう」とジェスチャーを送った

選手全員がフェアな状況で自分の力を出し切って決まるのが本物の結果だと思っています